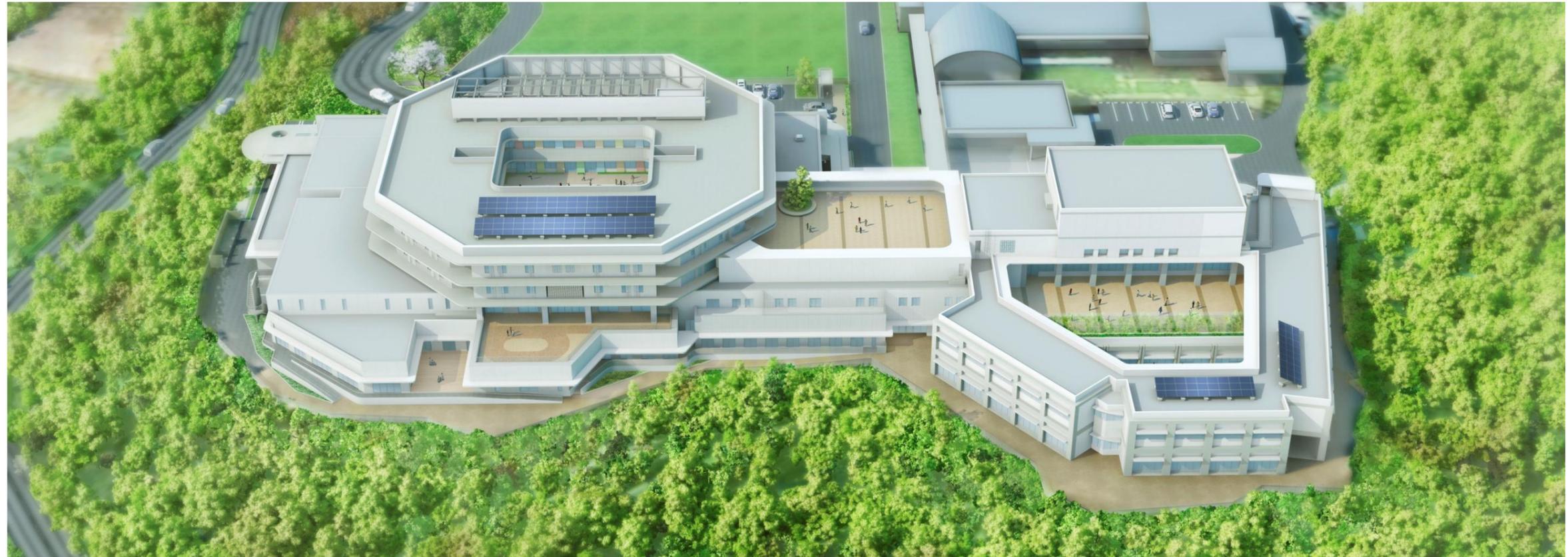
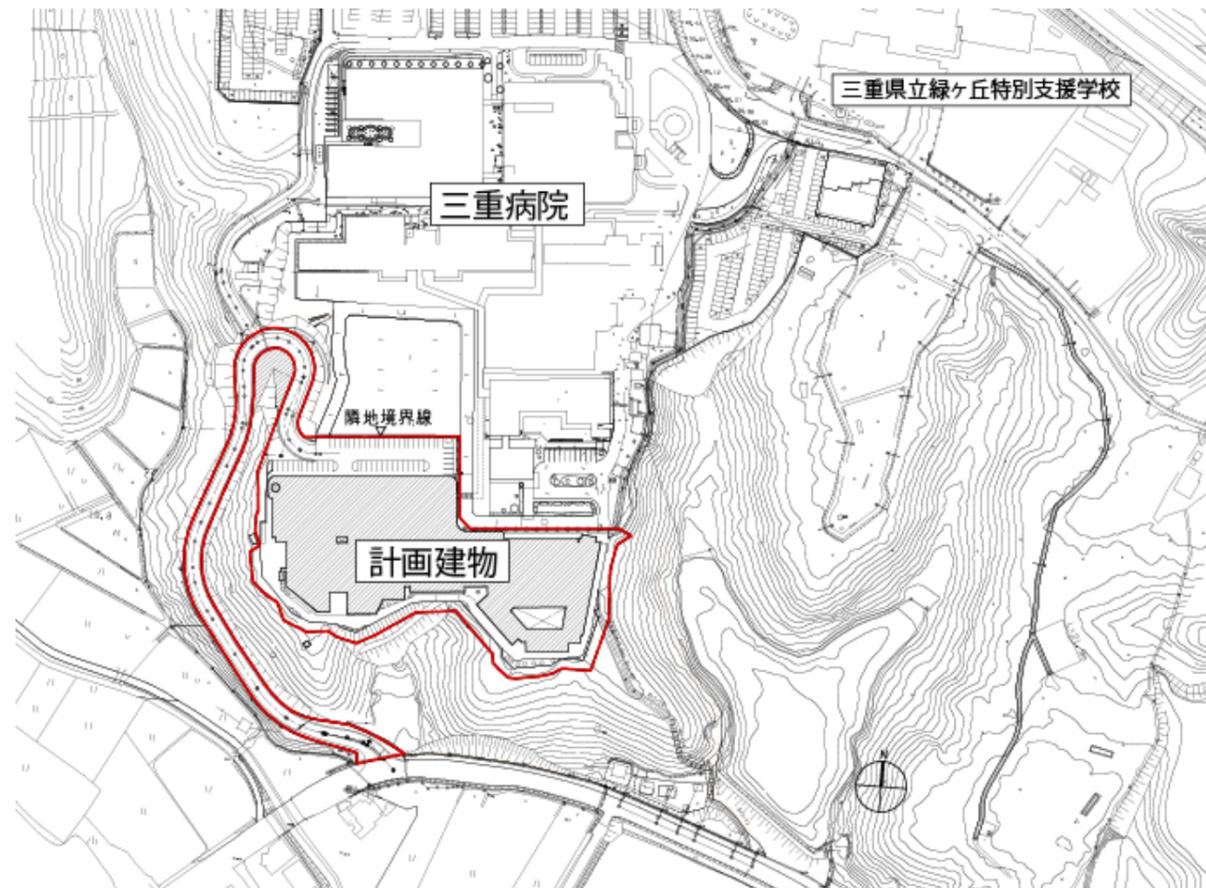


三重県こども心身発達医療センター（仮称）及び併設特別支援学校 の概要



1. 附近見取り図

周囲の自然や地形に溶け込む形状とし、三重病院・緑ヶ丘特別支援学校と連携しやすい建物配置とします



2. 整備の概要

発達支援が必要な子どもへの取組をさらに充実していくために、「三重県立小児心療センターあすなろ学園」と「三重県立草の実リハビリテーションセンター」および、県児童相談センターの「きこえの相談（言語聴覚機能）」を統合し、「三重県こども心身発達医療センター（仮称）」として、国立病院機構三重病院の隣接地での一体的な整備を進めています（平成29年6月開院予定）。

併せて、県立特別支援学校を新たに整備し、子どもの発達支援の拠点として、医療・福祉・教育が一体となった取組を展開していきます。

- (1) 建築場所 津市大里窪田字西穴川 340-5 外1筆 地内
- (2) 敷地面積 約 16,600 m²
- (3) 建築規模 延べ面積 17,200.62 m²
 （新センター：13,013.52 m² 特別支援学校：4,187.10 m²）
 建築面積 7,677.20 m²
- (4) 建築構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）4階建て
- (5) 病床数 小児整形外科病床 30床、児童精神科病床 80床
- (6) 建設費 約 90 億円（新センター：約 71 億円 特別支援学校：約 19 億円）
 国庫補助金 約 5 億円、医療再生基金 約 11 億円、県債 約 70 億円 ほか

【参考】施工業者

- 建築工事 清水・北村・丸亀特定建設工事共同企業体
- 電気設備工事 東邦・桑名・三重電業特定建設工事共同企業体
- 機械設備工事 朝日・前橋・増川特定建設工事共同企業体